

2025 年 2 月

公共政策プログラム文化産業・地域創造コース

コースの目的

文化産業・地域創造コースは、幅広い観点から文化資源を捉え、地域の魅力づくりや観光、文化芸術ビジネス、文化イノベーションの創出などに生かすことができる人材を育成することを目的としています。

ディプロマポリシー

文化産業・地域創造コースで、学生が身に着けるべき資質・能力の目標は次の通りです：

- ① 文化に関わる企画立案に関し必要な専門的知識を身に付け、事象を的確に分析して課題を抽出し、効果的な対応や実践に向けた提言を組み立てることができる能力
- ② 文化を含め多様な政策領域に共通する基礎的な知識や課題解決・社会実装の手法を踏まえ、事象を的確に分析して課題を抽出し、効果的な対応や実践に向けた提言を組み立てることができる能力
- ③ 定量的・定性的データ等も活用しつつ、文化に関わる課題に関する対応や実践に向けた提言について、説得力を持って説明ができる能力

カリキュラムポリシー

【必修科目】

研究技法基礎では、文化に関わる課題に対する論文作成または特定の実践的課題についての研究成果のとりまとめに向けて、研究の方法や進め方に関する素養を身に付けます。

【選択必修科目】

選択必修科目では、履修者が探求する文化領域の課題と関わりの深い、公共政策に

横断的な知識と、その活用によつて的確な分析ができる能力を身に付けます。

【コース指定科目】

コース指定科目では、文化産業に関わる法制度をはじめとする政策や文化事業を効果的に運営・支援するための手法、文化資源を活用した事例を通じて、理論と実践について学び、課題を分析する力や企画構想力を身に付けます。そのため、講義に加えて発表や討議に重点を置きます。また分析力や構想力に着目した試験や提出物により評価を行います。

【個別の研究指導】

学生の個別指導では、主指導教員及び副指導教員の複数名体制での研究指導を行います。

アドミッションポリシー

求める学生像

本コースでは、中央省庁、地方公共団体、非営利団体、企業等において、関連する分野での実務経験のある方をはじめ、文化と経済の循環について学び、将来の実践に役立てる意欲と適性のある方を受け入れます。

審査方法及び審査基準

【第1次審査】

出願書類に基づく審査を行います。審査は、これまでの職務経験、推薦者による評価内容、大学(学部)の学位と学習内容及び成績、研究計画の独創性及び現実的な政策課題との関連性、問題意識の具体性等の観点から、総合的に判断し、選考します。

【第2次審査】

第1次審査の合格者に対してオンラインで面接を行います。書類選考で必要と判断された者には課題提出を課す場合があります。

面接では、質問に対する応募者の回答内容の論理性や的確性、研究課題への目的意識、学習意欲、修了後のキャリアプラン等を総合的に判断し、選考します。

カリキュラムマップ： 公共政策プログラム文化産業・地域創造コース

			ディプロマポリシー①	ディプロマポリシー②	ディプロマポリシー③
区分	科目番号	科目名	① 文化に関わる企画立案に関し必要な専門的知識を身に付け、事象を的確に分析して課題を抽出し、効果的な対応や実践に向けた提言を組み立てることができる能力	② 文化を含め多様な政策領域に共通する基礎的な知識や課題解決・社会実装の手法を踏まえて、事象を的確に分析して課題を抽出し、効果的な対応や実践に向けた提言を組み立てることができる能力	③ 定量的・定性的データ等も活用しつつ、文化に関わる課題に関する対応や実践に向けた提言について、説得力を持って説明ができる能力
区分I 必修科目	PPP1000J	研究技法基礎		○	○
区分II 選択必修科目	ECO1000J	ミクロ経済学Ⅰ		○	
	ECO1050J	マクロ経済学		○	
	ECO2700J	計量経済学		○	
	ECO2710J	費用便益分析		○	
	ECO3000J	ミクロ経済学のビジネス実践		○	
	GOV2100J	政策過程論		○	
	GOV2520J	行政の改革・革新と政策評価		○	
	GOV3100J	政策マネジメントの実践		○	
	GEN5020E	The World and the SDGs		○	
	GEN5030J	GRIPS ForumⅠ		○	
	GEN5040J	GRIPS ForumⅡ		○	
	IPR1020J	民法の基礎		○	
	MOR1030J	データサイエンス基礎		○	
	MOR1100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理Ⅰ		○	
	MOR2000J	計画と評価の数理		○	
	MOR2020J	実践データサイエンス		○	
	MOR2100J	政策科学のためのデータサイエンスと情報数理Ⅱ		○	
	PAD3100J	EBPM概論		○	
	REG1200J	行政法の基礎		○	
(コース)	CUL1010J	文化産業と政策	○		○
	CUL1020J	日本文化資源論	○		○
	CUL1030J	文化産業と法制度	○		○
	CUL2160J	文化産業と地域振興	○		○
	CUL2170J	文化産業とマネジメント	○		○
区分III 選択科目	DEV2140J	景観・デザイン論		○	
	DEV2150J	都市学の理論と実践		○	
	DEV2160J	社会基盤整備のPPP/PFI		○	
	DEV2180J	水圏国土学		○	
	DRM2050J	気象と災害		○	
	DRM3010J	災害対策各論Ⅱ		○	
	ECO2000J	ミクロ経済学Ⅱ		○	
	ECO2020J	政府と市場		○	
	ECO2600J	経済政策の理論と展開		○	
	ECO2900J	ゲーム理論		○	
	ECO3104E	Policical Economy		○	
	ECO3330J	都市政策の空間分析		○	
	ECO3440J	世界経済の見方:国際的政策協調の中で		○	
	ECO3750J	経済シミュレーション分析		○	
	ECO3870E	Agricultural Development		○	
	ECO3890E	Development Econometrics		○	
	ECO3920E	Economic History and Institutions		○	
	GEN3000E	International Development Policy		○	
	GEN4000J	政策研究演習		○	
	GEN5050E	Social Issue Workshop: Learning from Japanese Experiences		○	
	GEN5060E	Social Issue Workshop for Business-Driven Innovation		○	
	GEN5070E	Workshop on Policymaking for Sustainable Development		○	
	GEN5080J	サイバーセキュリティ		○	
	GEN5090J	AI政策実践論		○	
	GOV1200J	国際協力論		○	
	GOV2110J	日本政治と理論分析		○	
	GOV2205J	国際政治経済		○	
	GOV2230E	Japanese Foreign Policy		○	
	GOV3110J	政策デザイン論		○	
	GOV3280E	Analysis of Great Power Politics		○	
	GOV3500J	経済社会統計の整備と課題:国際的整備の潮流と日本の対応		○	
	PAD2000J	気候変動と地域社会		○	
	PAD2040J	中小企業経営と地域経済		○	
	MOR3010J	数理モデル分析演習		○	
	REG2310J	地方自治と行政学		○	
		上記以外の授業科目		○	
区分X その他		プロフェッショナル・コミュニケーションセンター開講科目		○	